

消防年報 2021

令和3年版



埼玉西部消防局

表紙の写真

「30m級はしご付消防自動車（所沢中央梯子1）を更新」（左上）

令和2年10月に所沢中央消防署の30m級はしご付消防自動車（所沢中央梯子1）を更新しました。

この車両は、中高層建物における消火活動や各種人命救助活動に対応します。

「令和2年度埼玉西部消防局山岳救助研修」（左下）

令和2年11月に飯能市内において、令和2年度埼玉西部消防局山岳救助研修を実施しました。

埼玉西部消防組合は、管内に山間部を有しており、山岳遭難事故が発生した場合は、早期の対応が求められます。そのため、この研修は、新たに山岳救助隊員に指定された職員や、山岳救助隊員を目指す職員を対象に、山岳救助活動における基本的知識、技術及び安全管理を習得することを目的に実施しました。

「警防技術効果確認」（右上）

令和2年8月6日に飯能日高消防署において、警防技術効果確認を実施しました。

この訓練は、若年層職員の消防活動における基礎的な技術の向上を図ることを目的に、入職3年以下の職員を対象に毎年度実施しています。

「令和2年度埼玉西部消防局消防演習」（右下）

令和2年11月8日に所沢市内の事業所において、令和2年度埼玉西部消防局消防演習を実施しました。

この演習は、秋季全国火災予防運動の一環として、事業所及び地域住民の防火意識の高揚を図るとともに、事業所の自衛消防隊等との連携強化及び火災防御技術の向上を目的に実施しました。

裏表紙の写真

「埼玉西部消防局エンブレム」

中央の消防章は、雪の結晶の拡大図を基礎とし、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱を配置したものです。また、消防章を囲む5本の炎は、当組合を構成する5市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）による消防の任務に対する情熱、熱意、調和、団結を表しています。